

【特集】道の駅平泉に出荷しよう

町では、町内農産物や農産物を活用した加工品を道の駅平泉などへ出荷する生産者を支援するため、さまざまな事業を実施しています。

事業の詳細については、お問い合わせください。

■申し込み・問い合わせ先…農林振興課 ☎46-5564

【町の支援事業①】
園芸用ビニールハウス整備事業補助金

項目	内容
対象者	町内に住居し、自ら生産した園芸作物を町内の直売所などで販売しようとする個人・団体 ※団体とは、2人以上の認定農業者または、3人以上の農業者で構成する生産者組織
補助内容	【個人】 ▷園芸用ビニールハウスの新設整備費の3分の2を補助(上限25万円) ▷既設ビニールハウスのビニール張替整備費の3分の2を補助(上限5万円) 【団体】 ▷園芸用ビニールハウスの新設整備費の3分の2を補助(上限130万円) ※ただし、加温施設、かん水施設および設備費は含みません。
補助要件	①ビニールハウスを利用した農作物の5年間の栽培・出荷計画書を提出する。 ②年度内に整備が完了すること。 ③ビニールハウス整備後、出荷実績を5年間報告する。(販売証明書を添付していただきます)

【町の支援事業②】
新規作物導入支援事業

項目	内容
対象者	新しい品目の作物を道の駅内の産直施設で2年以上、継続して販売する人
対象作物	町野菜花き生産振興事業補助金の対象品目(トマト、ミニトマト、ナス、キュウリ、ピーマン、ネギ、イチゴ、タマネギ、メロン、リンドウ、コギク)以外の作物で、対象者が道の駅内の産直施設に出荷していない品目の作物
補助対象経費	対象作物を導入するための種、苗木、肥料、資材の購入費
補助金額	対象事業に要した経費で上限3万円(補助対象経費の2分の1)

【町の支援事業③】
地域特産品販売促進支援事業

項目	内容
対象者	町内農産物や農産物を活用した加工品を道の駅で販売する生産者
補助内容	広告宣伝物制作費用の4分の3を補助(上限20万円、1件当たり)
補助要件	生産者グループで▷広告宣伝物の使用開始後3年以上継続して出荷▷過去3年間補助金の交付を受けていない▷運営や組織に規約などを定めている一などの条件があります。詳細については農林振興課までお問い合わせください。



道の駅平泉の産直コーナー。町内産だけでなく、近隣市内産の農産物も販売しているが、種類や量が足りていない状況。

道の駅平泉出荷者数 (平成30年5月現在)

		出荷人数(人)			
		農産物	加工品	商工品	計
町内	個人	62	10	14	86
	会社	4	5	4	13
町外	個人	24	21	18	63
	会社	14	15	42	71
合計		104	51	78	233

道の駅平泉の課題
道の駅平泉を訪れたお客さまからは「新しく立派なトイレが広くてきれいで使いやすい」「お土産の品ぞろえが豊富」といった好意的な意見が寄せられる一方で、「地元野菜類がもっとあるとうれしい」「この地域ならではの特産品のある商品がない」といった厳しい意見もあります。地元産野菜の種類が少なく品ぞろえが悪いと、特徴のない産直コーナーとなり、来客数の減少につながります。来客数が減少すると、売り上げ

が見込めないため、出荷する生産者が減少し、ますます魅力のない売り場になってしまいうという悪循環に陥ってしまっています。特に端境期における地元産野菜の不足が大きな課題となっています。町では、道の駅平泉と連携しながら出荷者の野菜部会による課題解決に向けた取り組みを支援するとともに、生産者へ町の各種支援事業の活用を促して、地元産野菜の出荷増加を目指していきます。

町内出荷者を募集中

道の駅平泉には、町民だけでなく、県内外からの観光客や長距離運転手など多くの人が訪れます。そしてその来場者が求めるものは「地元で採れた新鮮な野菜」や「地元で作られた特産品」です。ぜひ、町内の皆さんが作っている農産物や、その農産物を活用したお菓子や総菜などの加工品の出荷を始めてみませんか。

道の駅平泉では、町内出荷者の募集を随時行っていますので、ぜひお気軽にお問い合わせください。

■申し込み・問い合わせ先
道の駅平泉 ☎48-4795

特集

道の駅平泉に出货しよう

オープンして1年が経過した「道の駅平泉」。多くの来場者が訪れる一方で課題も見えてきました。その課題とは――。

地域の核となる道の駅

近年、長距離運転や、女性・高齢者の運転手が増加しており、交通の円滑な流れを支えるため、一般道路にも安心して自由に利用できる休憩施設の整備が求められています。また施設では、地域の文化や歴史、名所特産物などを活用した多様なサービスの提供も望まれています。そして施設ができることで、地域の核が形成され、道を介した地域連携が促進されるなどの効果も期待されます。

こうしたことを背景に、道路利用者のための「休憩機能」、道路利用者や地域の人たちのための「情報発信機能」、道の駅をきっかけとした活力ある地域づくりを行うための「地域の連携機能」の3つの機能を併せ持つ休憩施設として、全国に道の駅が誕生しました。

多くの人でにぎわう場所

「道の駅平泉」は、町内初の道の駅として平成29年4月27日に、町の中心部を縦貫する国道4号沿いにオープンしました。トイレと休憩施設、物産館、レストランを一体の建物で整備したことにより、利用者の利便性の向上と滞在時間の拡大が図られ、現在も多くの人でにぎわっています。

施設概要

- ▷敷地面積…16,197平方^{メートル}
- ▷建物床面積…1,567平方^{メートル}
- ▷駐車場…126台
- ▷電気自動車充電器…1台
- ▷男性用トイレ…13器
- ▷女性用トイレ…22器
- ▷身障者用トイレ…3器